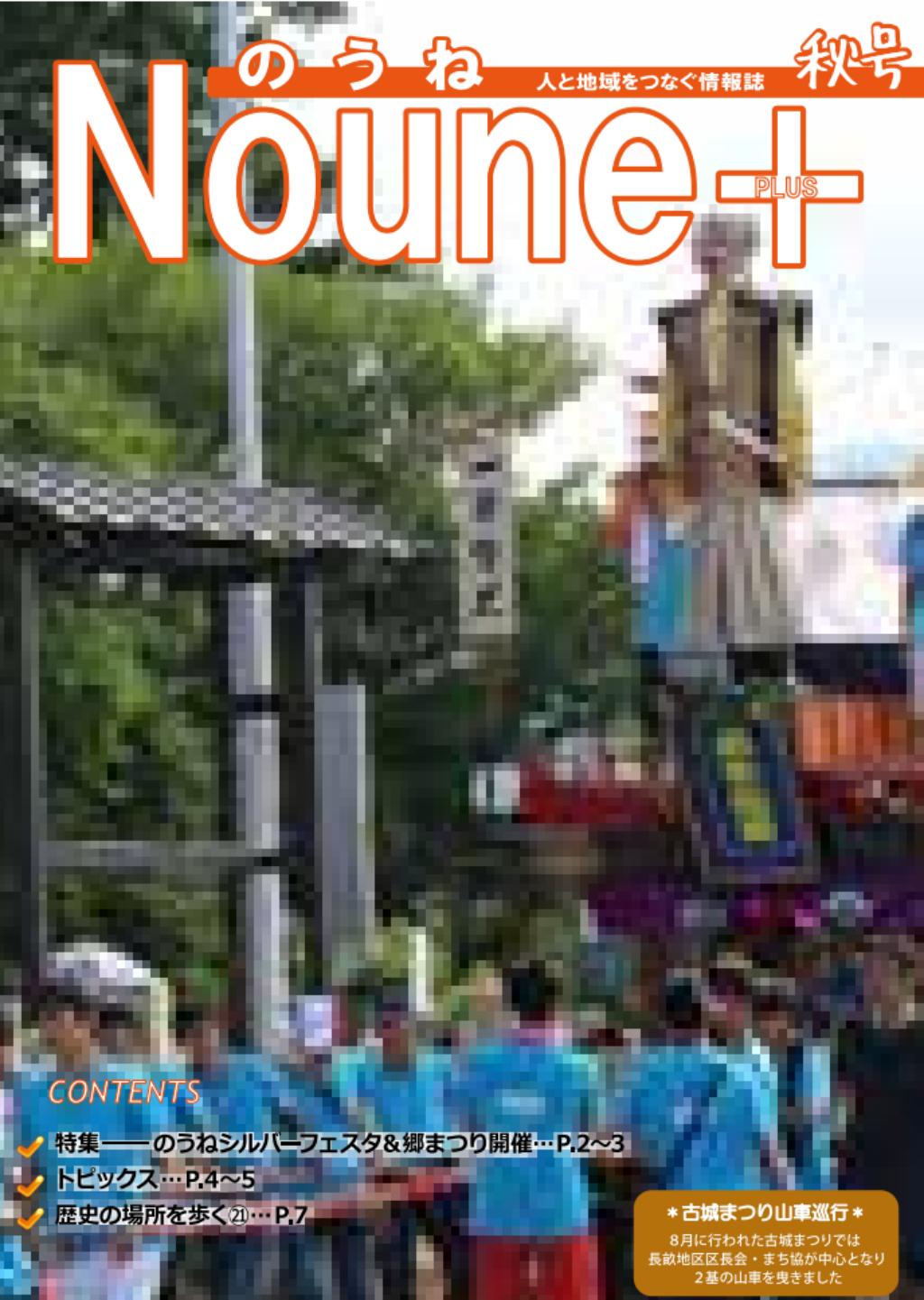


のうね Noune+

人と地域をつなぐ情報誌

秋号

PLUS



CONTENTS

- ✓ 特集——のうねシルバーフェスタ&郷まつり開催…P.2~3
- ✓ トピックス…P.4~5
- ✓ 歴史の場所を歩く②…P.7

古城まつり山車巡行

8月に行われた古城まつりでは長啟地区区長会・まち協が中心となり2基の山車を曳きました

のうねシルバーフェスタ&郷まつり開催!

素晴らしい秋の一
日、

三世代が満喫

「第5回のうねシルバー
フェスタ&郷まつり」が9月
23日(日・祝)に長歟小学校・
旧長歟幼稚園で盛大に開催
されました。今年の8、9
月には台風が数多く押し寄
せ、開催日の天候も危ぶま
れましたが、当日は夏を思
わせる雲一つない晴天に恵ま
れ大勢の方が来場されました。

体育館にはご招待した5
歳以上の敬老会216名の方々
をはじめ、約3000名の
多くの方が集まり、辻川区
長会長の開会のご挨拶・長
歟地区老人クラブ連合会・豊
原会長の元気宣言で幕が切つ
て落とされました。続いて
ステージではわっか保育園5
歳児・長歟小学校2年生の
発表のほか7組の皆さんの

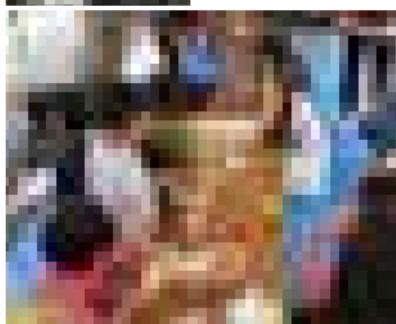
◀おろしそば販売ブースでは丸岡高校ボランティアの学生さんがお手伝い♪



▲オープニングはわっか保育園児による「よさこい」！◀黒田優美子さんと「三蝶会」によるキーボード・三味線・太鼓の迫力ある演奏に魅了了

▲今年の作品展示は体育馆と旧長畠幼稚園が会場に。どれも力作揃い！！

▲防犯隊・消防団・交通安全協会の方たちによる力強い打ちつけ！



◀長畠小学校PTAの方々にお手伝いしていただき『親子木工教室』を毎年開催。ベン立てや本立てが人気☆



▲お楽しみ抽選にご当選！
おめでとうございま～す

▲敬老会にご招待されたみなさん楽しんでいただけましたか？

▲赤い羽根共同募金ではご協力いただき、ありがとうございました

最後になりましたが、ご参加いただいた皆様、このイベントに賛同いただきました企業、賛いただいた100社（会社・団体）の皆様、お世話をいただいた区長会はじめ各種団体の皆様、有難うございました。

（ふれあい部会長 北秀季）

外では、つき立てのお餅・打ち立ての蕎麦・食欲をそそる焼き鳥・甘味の人気メニューはどれも終了時間前に完売するほどでした。他に、ボランティアによるバザーなどもあり気持ちいい一日を大変満喫されたご様子でした。夕方からは200発の大花火大会、四方から見られるようにと震の郷温泉前から打ち上げられ、本イベントのフィナーレを飾りました。

演目が披露され、大きな拍手をしていました。また展示では各種団体や小学生・保育園児の作品がお披露目され、目を見張る出来栄えに皆さんがあつめ足を止め見入っていました。

味 岡山でドローン体験！

『第5回 いこい祭り in 味岡山』が遊味岡クラブの協力のもと、8月11日（土）に行われました。元々荒れ地だった味岡山ですが、子どもたちが楽しく遊べるようにとの思いで始めた企画で、今年で5回目の開催となります。今年はドローン体験会を新たにを行い、珍しさもあり大変好評でした。その他、流しうめんやバーベキュー・小花火大会など、子どもたちが飛び回り親子で遊ぶ様子に部会員一同嬉しく感じました。天気に恵まれたこともあります、昨年以上の来場者（約100名）で和やかに一日を過ごすことができました。部会員・遊味岡クラブの皆さん、ご協力ありがとうございました。来年もお楽しみに。

（文：かんきょう部会長 前田 繁）



新 型合団灯で見守り強化

日頃から地域住民が安全で安心して住めるまちづくりのために犯罪予防等のパトロール活動や子どもを取り巻く犯罪被害からの見守り活動、自然災害箇所及び危険箇所等の点検を推進中の坂井市防犯隊丸岡第6支隊に対し、あんしん・ふくし部会では、感謝の意を表し新型合団灯（フランクション）を贈呈しました。

早速10月の国神神社祭礼の際には、贈呈した合団灯を活用して長歎小学校周辺のパトロールを実施していました。

（文：あんしん・ふくし部会長 村中 祐人）

豊 原の歴史を学びリースづくり

10月28日（日）に開催を予定していた「豊原古道フットバスツアーワーク」は、2～3日前から続く雨天のため2年連続で中止となりましたが、長歎小学校4年生の親子行事を兼ねていたため、代わりに長歎小学校多目的ホールにて「クリスマスリースづくり」を実施。冒頭に中村宗玄副会長から挨拶があり、20分程度豊原の歴史と史跡の説明を聞いた後、親子で15cm程度のリース本体にリボンや松ぼっくり、モールなどを飾りつけ約1時間でリースを完成させました。リボンづくりは難しかったのか親子で協力して仕上げていました。最後にそれぞれがつくったクリスマスリースを手に全員で記念撮影をしました。当日参加された皆さんお疲れ様でした。天気予報では晴天となっていただけに、一般参加予定の方や子どもからは大変残念がる声が多く聞かれました。来年こそは天候に恵まれ開催されることを願っています。

（文：ふるさと部会長 上内 晴幸）



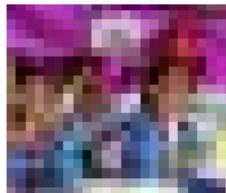
Topics

山 第50回 丸岡古城まつり 8月12日（日）開催！ 車巡行 北から南からいざ出陣！

四年ごとに巡ってくる“丸岡古城まつり からくり人形山車巡行”。私は、石上区の高岳寺を出発する「本多作左衛門」の山車を引きました。途中、からくり武者の演舞を披露しつつ、石上→愛宕→里丸岡→今町→霞ヶ丘と進み、丸岡城までのコースを練り歩きました。今年は真夏の8月の開催となり記録的な猛暑の中、熱中症等いろいろな心配がありましたが、それらを吹き飛ばすように行く先々で多くの皆さんに見守られ、お嬢子は賑やかに、太鼓の子どもたちもかわいらしく、引手の皆さんとは和気あいあいといつの間にか暑さも忘れて楽しく過ごせました。まつり会場の一筆啓上茶屋前で長歎区の八幡神社を出発した「本多成重」の山車と合流し、無事親子の対面を果たしました。天守閣の下、最後に2基揃っての演舞は勇壮なもので、まつりを大いに盛り上げました。

（文：長歎地区区長会長 辻川充伴）

今回は長歎地区で2基（北南コース）の山車巡行を担当することになりました。北コースは長歎八幡神社で神事の後、元気に出発。実盛池・城北団地内・松川を通り、まつり会場の一筆啓上茶屋前までおよそ1.9kmを練り歩きました。その間道中での人形パフォーマンスや子どもたちのお嬢子を披露でき、見物していた方にも楽しんでいただけたのかなと思います。真夏で暑い中、ご協力いただいた区長さん・郷協スタッフ・丸岡高校テニス部他30数名の皆さんのお陰と実行委員会の担当部会の協力があり、無事何事もなく終えたことに感謝申し上げます。（文：のうねの郷づくり推進協議会会长 寺本富二夫）



▶南コースは高岳寺前路上より出発。前川元会長宅前を通り、およそ 1.7 km を練り歩きました▼長歎小学校3年生の児童とその保護者らが縁起立てばらしいパフォーマンスを披露し、児童“丸岡古城優秀賞”を受賞しました



▲夏前から練習を重ねてきた子どもたちの太鼓の音色が、山車巡行を一層盛り上げました
▲北コースは長歎八幡神社前にて御祓式を斎行した後、およそ 1.9 km を練り歩きました



歴史の場所を歩く②

昔懐かしい

田屋の金毘羅さん

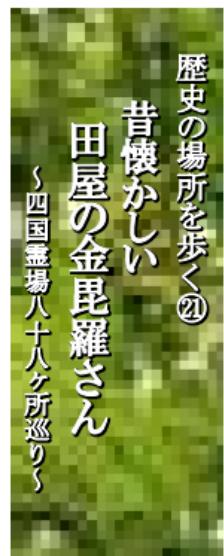
う四国靈場八十八ヶ所巡り

田屋の金毘羅山
(我々は小さいころから金毘羅神社のあるこの山を「こんびらさん」と呼んで親しんでいた。)は年取った人たちには何となく懐かしい思いがする場所である。子供のころ一度は険しい階段を上つてお参りした経験があるからである。田屋区の氏神神社である八幡神社の境内の横に金毘羅宮が祀られている。今は

裏から林道が造られたので軽トラックで登ることができるがそれでも高い場所に神社を作ったものだ。うねの郷づくり協議会が建てた案内板が立っている所である。鳥居をくぐって急な階段を登っていくと途中にやや平坦な場所があつて、そこから一番かる。参道の両脇に小さな祠の石仏がたくさん並んでいる。よく見ると台座に一番から八十八ヶ所巡りの番号が刻んであるので、これが金毘羅さんの八百段の石段を登つたところにある。今は

八十八ヶ所巡りの八十八ヶ所を廻つたと同じようなご利益があるとされていて、昔は相当な参拝者が軒わつたそうだ。今、この参道はかなり荒れていて石仏も祠の屋根が落ちて転がっていたり、台座だけになつているものもある。今ではこの裏の八十八ヶ所めぐらしの石仏の存在を知りたい人や、知らない人もかなりいるのではないか。

宮、八十八ヶ所巡りの石仏は天保6年(一八三五)ころに作られたと記録されている。建立したのは福島忠美子さんという女性で、この人は丸岡藩の要人福島長大夫の母で国学に長じ、和歌を読む達人で鳥居をくぐつて急な階段を登つていくと途中にやや平坦な場所があつて、そこから一番かる。参道の両脇に小さな祠の石仏がたくさん並んでいる。よく見ると台座に一番から八十八ヶ所巡りの番号が刻んであるので、これが金毘羅さんの八百段の石段を登つたところにある。今は



八十九)に亡くなつてゐる。また、途中に建てられている石柱には「一拜者 感應 賦役 傳山 妙行」という文字が刻まれていて安政3年(一八五六年)の年号書かれており、その石柱を読む達人で鳥居をくぐつて急な階段を登つていくと途中にやや平坦な場所があつて、そこから一番かる。参道の両脇に小さな祠の石仏がたくさん並んでいる。よく見ると台座に一番から八十八ヶ所巡りの番号が刻んであるので、これが金毘羅さんの八百段の石段を登つたところにある。今は

八十八ヶ所巡りの八十八ヶ所を廻つた同じようなご利益があるとされていて、昔は相当な参拝者が軒わつたそうだ。今、この参道はかなり荒れていて石仏も祠の屋根が落ちて転がっていたり、台座だけになつているものもある。今ではこの裏の八十八ヶ所めぐらしの石仏の存在を知りたい人や、知らない人もかなりいるのではないか。

宮、八十八ヶ所巡りの石仏は天保6年(一八三五)ころに作られたと記録されている。建立したのは福島忠美子さんという女性で、この人は丸岡藩の要人福島長大夫の母で国学に長じ、和歌を読む達人で鳥居をくぐつて急な階段を登つていくと途中にやや平坦な場所があつて、そこから一番かる。参道の両脇に小さな祠の石仏がたくさん並んでいる。よく見ると台座に一番から八十八ヶ所巡りの番号が刻んであるので、これが金毘羅さんの八百段の石段を登つたところにある。今は

八十九)に亡くなつてゐる。また、途中に建てられている石柱には「一拜者 感應 賦役 傳山 妙行」という文字が刻まれていて安政3年(一八五六年)の年号書かれており、その石柱を読む達人で鳥居をくぐつて急な階段を登つていくと途中にやや平坦な場所があつて、そこから一番かる。参道の両脇に小さな祠の石仏がたくさん並んでいる。よく見ると台座に一番から八十八ヶ所巡りの番号が刻んであるので、これが金毘羅さんの八百段の石段を登つたところにある。今は

（文責　水嶋亮博）

まちづくり通信 MAIL BOX

8/19
(日)

長岡区

『一次救命処置』(BLS)※

～心肺蘇生法(CPR)とAED～
について学ぶ

坂井市では避難訓練が行われ、長岡区の一次避難所では自主訓練に地元住民70名が参加。日本赤十字社福井県支部から講師を招き、心肺蘇生法やAEDの大切さを学びました。



長い道のりで、家族や周りにいる人がすぐに手当を行なうことで、救命の可能性は高くなることを学んだ

※一次救命処置とは心肺停止患者に対し、緊急病態の認知、救命医療システム(119番)への通報をおこなうとともに、気道確保、人工呼吸および心臓マッサージにより自発的血液循環を回復させる試みを指し、医療従事者に限らず誰でも行える心肺蘇生法をいいます。

城東グラウンド花壇 “はびねすフラワー・コンクール”入賞



5年目の最終章で、国体に向け城東グラウンド東側に花壇を作り、国体関係者ご駐車場を利用する人に緑やかな“おもてなし”にならうことと思います。

また、県“はびねすフラワー・コンクール”入賞と坂井市花壇コンクール広域部門で優良賞受賞することが出来ました。来年以降も継続維持したく思っております。興味のある方お手伝いください。 かんきょう部会長

第13回
坂井市
花壇コンクール
結果

入賞
【地区部門】
与河社会福祉協議会
優良賞
【広域部門】
のうねの郷づくり
推進協議会

「のうねの郷だより Nounet 秋号」

平成30年11月21日発行



▲「けんかして 妻がおこって雨がふる
かさに雨つぶ ポツンと当たる」
素直な気持ちを歌にしたためる上出さん

「長い道 イチョウや
みじ ちららちらと みんな
が感動 紅葉の森」ー。上
出悠人さんが家族で刈込
池に行つた時を歌つた短
歌。上出さんは、朝日新
聞主催の若越歌壇(と俳壇)
に投稿し、2度も選入
されるほどの実力を持つ、小
学生歌人だ。
上出さんは、趣味で短
歌や俳句をしている祖母

と
人
奥深い
歌の世界の魅力を知る、
小学生歌人・上出悠人さん

の影響で、短い言葉で感
情や情景を込めるその魅
力にひかれて、1年ほど
前から始めた。才能はす
ぐに発揮され、今年の正
月には親戚の前で祖母と
互いの俳句を披露し合う

月には親戚の前で祖母と
互いの俳句を披露し合う
「児童館で遊んでいたる時
句合」を行うと、祖母
を褒美する場面も。
「おばあちゃんに、歌を
見せたときに『いいじゃ
ない!』と褒められたく
なった」と照れ臭そうに話す
上出さん。身近にいる審
査員でもありライバルで
もある祖母ともに豊かな
感性を磨いている。サッ
カーや遊びともに、奥深
い歌の世界の楽しみを知
る、多彩な才能の持ち主
だ。

上出 悠人
(かみで ゆうじ)
長崎小学校4年
長崎サッカー選手。
地元のスポーツ少
年団で週3回の練
習に励む。

これから予定

★12月1日(土)～1月31日(木)

味岡山イルミネーション点灯

★12月1日(土)

『ハーバリウム作り』

★12月2日(日)

『越前カンタケ教室』

★12月18日(火)

『★世界を旅する★食育講座』

～韓国料理編～

★1月17日(木)

坂井市丸岡自治区区長会

編集後記

▼朝晩めつきり涼くなり、すっかり秋
らしくなりました。数ヶ月前の酷暑が嘘
のようです。豪雪に始まり、
台風・大雨・地震と災害続きの一年でした
が来年は新しい時代がスタートする年
でもあります。穏やかに過ごせる年にな
ればいいなど願っています。(K・M)

◆発行・のうねの郷づくり推進協議会 ◆編集・じゅうほう部会

〒910-0224 福井県坂井市丸岡町ハヅケ24-9

TEL・FAX: 0776-66-7446 E-mail: nownet-co@city.fukui-j-sakai.jp